

2016年8月1日
現勢2,830名
前月比-58名
2920名(1/1付)

小平東村山

発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

本部70周年記念 キャラクターを募集

東京土建本部が、結成70周年を記念して、イメージキャラクターを製作します。

キャラクターの製作にあたって、組合員・家族の皆さんからデザインを募集します。

応募要領は下記の通りとなります。皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募してね



【応募要領】

- ①応募資格：組合員とその家族
- ②募集期間：7月4日～9月10日
- ③応募方法：応募用紙に必要事項を記入の上、支部まで。
- ④報奨など：最優秀以下5点までに金一封。応募者に粗品

※応募用紙は支部で配布します。応募を希望する方はお問合せ下さい。

東村山小平両市で平和行進

～天気にも恵まれ元気に歩く～



80人以上が参加した小平平和行進の様子

東村山平和行進

【直属・書記次長 佐藤 哲也 記】

東村山地域の平和行進は7月24日午後2時過ぎに、東大和地域より富士見町のサミット前で引き

続き、出発しました。

東村山市役所の休憩所では、渡部市長が激励に駆けつけ、参加者を労うと共に平和に対する想いを語りました。市長の発言中、一人の市民から妨害を受ける場面もありましたが、毅然とした態度で



市長の激励もあった東村山の平和行進

小平平和行進

小平地域の平和行進は、7月25日午前10時に小平市役所を出発し、西東京市役所目指して行進

ではねのけました。

休憩後、全生園に向けて歩みを進める中でも妨害がありました。参加者は気にするどころか更に大きな声でピースコールを唱和しました。ゴールの全生園では、全生園労組の方々が用意してくれたスイカやキュウリの漬け物などで疲れを癒やし、清瀬地域へ引き継ぎました。

を始めました。

途中、沿道の市民から手を振ってもらったり、声援を送られるなど参加者も励まされながらの行進となり、力強いピースコールと共におよそ8キロという長い距離を歩き、西東京市役所田無庁舎で西東京地域に引き継ぎました。小平の梯団には、新潟からの通し行進者に加え、小平で数力所目という大学生など、地域外の方も参加しました。

仲間づくり出陣式

秋の仲間づくり月間出陣式を下記のとおり開催します。参加申し込みは所属分会まで。
とき：9月15日(木) 19:30開始
場所：東村山市民センター会議室
(東京都東村山市本町1-1-1)

須賀書記本部へ異動 いままでお疲れさまでした



須賀書記

いただき、育ててきていただき、本当に感謝しています。

小平東村山の皆さんは本当にいい人が多く仕事の中で、やりがいを感じますし、純粋に楽しいことが多くありました。

二〇一〇年10月から入職し、早くも丸6年が経とうとしています。初日が東京土建小平支部と建設ユニオンが共同で開催した「公契約条例シンポジウム」の日でしたので思い出深いです。最初は賃金・労働・技術・青年部を担当しました。また、分会は学園分会の担当になり、その後ほとんどすべての分会を回らせていただき、多くの分会役員さんにご指導の心残りです。

用水路

熊本地震は4月14日夜に前震、16日未明に本震が発生し、その後も九州が揺れ続けています。多くの人が命を奪われ、多くの家屋が倒壊、あるいは倒壊の危機にさらされた。地震直後の一時期は電気、ガス、水道、交通機関などのインフラが完全に麻痺した▼一部を除き、急速に復旧が進むが、今なお多くの人が避難生活を続け、子供たちも困難な通学を余儀なくされ、感染症やエコノミッククライシス候群による、二次的、三次的な被災が深刻の度を増しており、対応が求められる昨今である▼二〇一一年の東日本大震災、そして今回の熊本地震。予報はもちろん、予測もたない自然の猛威に、人間の無力さ、科学の無力さを思い知らされる。誰のせいにもできない事態、自分を責めようにも責めることができない事態に「仕方ない」と肩を落としてつづも、それでも頑張ろうとする人々を励ますようと、支援に奔走する人々、無力さを力に変えていくのも、人間の素晴らしいところだ▼手に負えない事態が、そうした人間の力を引き出してくれていると見ることができそう。

(岡)

新しいPALが結成



結成総会には20人が参加した

7月21日、小平東村山支部PAL(組合職長の会)の結成総会が開催されました。野丁場・新丁場で働く仲間が結集するPALは、仲間から集めた情報をもとに、企業交渉や学習会を通してより良い建設産業の実現を目指した活動を行っています。

意見交換 議論を重ね

7月21日美園地域センターにて、小平東村山支部PALの会結成総会が開催され、20人が参加しました。4月の支部結成大会以降、小平、東村山両地域のPAL活動についての意見交換を重ね、それぞれの到達をふまえた新支部方針を議論してきました。結成時の会員数は一〇



ブロックでBBQも開催

PAL活動の前進には、仲間を集集させ、情報を集める・学習する、そして運動(闘い)につなげることが重要と考え、組織率4%の達成を

仲間を集め 一歩踏み出す

目標とした会員拡大の実施を大きな方針に掲げました。6月に取り組んだ「働き先アンケート」から得た情報を活かし、大手企業交渉を軸としたPAL活動への参加者を増やします。

また、パワービルダー、ハウスメーカー従事者の組織化を図り、PAL住宅部会の活動の前進も目指していきます。



博物館前で(写真:山岸さん)

けやきの会

ピースウォーク

話を聞きながら、江戸の街並みの成り立ちや、再現された芝居小屋などを見学しました。

博物館見学の後は東京都慰霊堂へ、昭和5年に関東大震災による遭難者の遺骨を納めるために作られ、その後、東京大空襲による犠牲者の遺骨も併せて慰霊堂に安置されています。天候にも恵まれ、心に残るウォークとなりました。

私たちのPALを紹介します



【分会の基礎データ】

○管轄地域-小平市天神町・回田町・上水南町の全域及び、鈴木町・喜平町・学園東



昨年秋、秩父へバスレクを行う



左から大境分会長、中田書記長

【小平東・建築事務 前川千恵子 通信員】 小平東分会は、二〇一四年3月に鈴天分会と中

新分会長を選出し 分会レクで勢いを

は、ほとんどの会議や行事で、天神地域センターを利用してきます。

今年3月の分会総会で、新分会長に若い大境人美さんが選任されまし

央分会が合併し結成されました。分会再編前の鈴天分会では、分会内の組合員さんの事務所を借り、分会センターにして

いた。大境分会長は気が付いてみると、いつもメモを取るなど、一生懸命さが伝わってきます。

10月30日(日)は「三崎でマクローを味わう!」三浦半島のバスレクがあります。秋の仲間づくりで声掛けをして、参加者を募ります。これから

せて協力し、3年目となる小平東分会を少しでも押し上げていきたいと思

今まで出て来られなかった方が、参加できるような雰囲気作りが大切だと思います。

厚生文化部

支部納涼会



説明を聞きながら見学(写真:山岸さん)



名人たちの対局が行われた

7月23日夜、支部事務所3Fにて、厚生文化部主催の納涼会が開催され22名が参加しました。開会後は食事や飲み物を楽しみながら、将棋の対局やおしゃべりをそれぞれ楽しみ、20時30分で散会となりました。

地震共済スタート

9月から、どげん地震共済がスタートします。

地震共済の創設により、これまでの火災共済では保障されなかった、地震や地震による火事や津波などにより、建物等に損害が生じた場合の保障も可能になりました。

地震共済加入には、火災共済への加入が条件となり、地震共済単独での契約はできません。詳しい制度内容や、手続は、支部事務所までお問い合わせください。

【加入例】

木造・居住面積25坪 (火災二〇〇万円・地震一〇〇万円の保障) 火災と地震共済併せ、年間掛金四五〇〇円